

高岡高等支援学校周辺の砂岩層

高岡市東海老坂地内には高岡高等支援学校がありますが、この周辺には砂岩層がいたるところで見つかります。この砂岩層は、今から100万年以上前の比較的温度の低い海底に堆積した砂岩層(「頭川層」)で、時折、ウニやホタテガイの貝化石も混ざります。この砂岩を顕微鏡で観察すると、多くの有孔虫の化石もみつかります。



また、近くの西海老坂神明社側方の参拝道は2009年に切り開かれましたが、頭川層が堆積した後に河川から運ばれてきた礫が堆積した礫層が観察できます。この礫層は、高岡市内を流れる小矢部川本流の河床にみられる礫とはちがい、ほとんどが白っぽい流紋岩からなります。また、丸みもやや不足していて、十分に礫が円磨する時間が与えられないうちに堆積した(支流?)こともわかります。

